

ノーベル賞受賞者が後押し

ILC
東北誘致

来月にも首相へ

宇宙誕生の謎に迫る国際リニアコライダー(ILC)の誘致に取り組む東北ILC推進協議会の東北ILC準備室(室長・鈴木厚人県立大学長)はノーベル物理学賞の受賞者10人のメッセージを冊子にまとめた。プロジェクト実現の必要性や日本政府への期待感が示さ

れ、来月にも安倍晋三首相に届けられる。

登場するのは、重力波研究で今年受賞しILC計画にも関わりが深い米カリフォルニア工科大のパリー・

オルニア工科大のパリー・

パリッシュ名譽教授ら海外の研究者7人と、ニュート

リノ研究の第一人者である東京大の小柴昌俊特別栄誉教授ら国内の研究者3人。

パリッシュ氏は「安倍総理大臣殿」と書き出し「ILCは素晴らしい科学的意義を持ち、世界で最も重要な素粒子物理学プロジェクトだと確信する」と強調。

東北メッセージを冊子に



日本に対し「千載一遇の機会をつかみ、ホスト(受け入れ)決定することを中心願う」と呼び掛ける。冊子は今年秋に編集に着手。依頼に携わった鈴木室長に對し、返信された手紙と日本語訳を紹介するほか、ウェブサイトに研究者が提供した動画のURLも掲載。完全版、要約版をそれぞれ500部作製した。

来年1月、超党派のリニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟(会長・河村建夫衆院議員)が中心となり、東北ILC準備室の活動報告資料と併せて安倍

首相に届ける予定という。鈴木学長は「大きな応援を得て感謝している。計画実現に向けた努力に対し、世界がこれほど期待していることを日本政府に伝えたい」と語る。

冊子に掲載された小柴氏、パリッシュ氏以外の受賞者は次の通り。

バートン・リヒター・ステイプン・ワインバーグ・シエルドン・グラショウ・ジエローム・アイザック・フリードマン・デイビッド・グロス(米国)・ジェラルド・トボーフト(オランダ)・益川敏英(日本)

ノーベル物理学賞受賞者のメッセージをまとめた冊子を手にする鈴木厚人学長